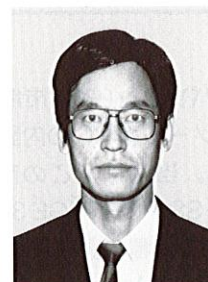


薄型ノートブックパソコン

Slim PCs

田中 宣幸
TANAKA Nobuyuki

当社は、1985年世界初の業界標準ポータブルパソコン(PC)を発売以来、つねに革新的な技術を導入した商品を投入することによって、この業界をリードしてきました。おかげさまでポータブル分野での当社PCの世界シェアは、93年にコンパクト社に一位を奪われた以外、No.1を維持してきました。

当社の商品コンセプトは“いつでも、どこでも、だれでも、何にでも”であり、これをつねに進化させポータブルPC市場拡大に努めてきました。

86年に国内で最初に発売したポータブルPC J-3100は、きわめて大きな反響を呼びましたが、このJ-3100は、厚みが80mm、質量が6.8kgでした。当時のポータブルPCは、ノートブックサイズより大きく、一般に“ラップトップ”と呼ばれており、まだ理想には遠くさらなる小型・軽量化が望まれていました。89年に発売したDynaBook J-3100 SS(厚み44mm、質量2.7kg)は、初の“ノートブックPC”としてこれまた大きな反響を呼びました。以降ポータブルPCは“ラップトップ”から“ノートブック”の時代へと進化してきました。

98年6月30日、当社は、他社商品を凌駕(りょうが)する超薄型・最軽量のノートブックPC 3機種(DynaBook SS PORTÉGÉ 6000, DynaBook SS PORTÉGÉ 3000, Libretto SS 1000)を発表しました。代表機種であるDynaBook SS PORTÉGÉ 3000は、B5ファイルサイズで、厚み19.8mm、質量1.19kgです。

初代のポータブルPC J-3100に比べ、性能・機能は飛躍的に向上しているにもかかわらず、厚みで1/4、質量で1/6と小型・軽量化されております。

98年6月は、初のノートブックPCであるDynaBook J-3100 SSを発表して10年目にあたります。当社は、この薄型ノートブックシリーズを10年目の進化した“DynaBook”として位置づけ、今後とも機能強化し市場拡大を図る所存です。この特集では、薄型ノートブックPC 3機種の詳細とそれを実現した主要な技術を紹介いたします。